

事業番号	事務事業名	財産一般臨時管理費	所管課名	総務課	令和 2 年度課長名	藤田 昭彦
00211	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名	財産管理係	担当者・シート作成者	平碓 千里
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	臨時に発生する財産維持管理を行う。 ・旧鏡野町富教育歴史資料館解体工事 ・旧富教職員宿舎解体工事 他	財産の維持管理については、財産を取得した時点から必要となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 財産	ア 修繕等を行った財産	箇所	見込 実績	5 11	5 8	5 6	5	5
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 活用もしくは処分ができるように維持管理を行う	ア 活用若しくは処分を行った財産	箇所	目標 実績 達成率	5 9 180.0%	5 5 100.0%	5 6 120.0%	5	5 120.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 作業、修繕の発注	ア 作業、修繕の発注件数	件	目標 実績 達成率	10 8 80.0%	10 8 80.0%	10 6 60.0%	10	10 60.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 05		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		財産管理費		01	02	予算上の事業名			
							財産一般臨時管理費		00211					
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			25,000			25,000	町債			24,300			24,300	
その他特財							その他特財							
一般財源	51,138	25,110	55,298	7,700	7,700	30,188	一般財源	49,761	3,229	48,162	7,700	7,700	44,933	
合計	51,138	25,110	80,298	7,700	7,700	55,188	合計(A)	49,761	3,229	72,462	7,700	7,700	69,233	
財源名称	合併特例債:老朽化施設除却事業						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	100	50	50	50	50		
							人件費計(千円)(B)	338	175	167	168	168	-8	
	最終予算額		80,298 千円		予算執行率		90.2%		トータルコスト(A+B)	50,099	3,404	72,629	7,868	7,868
主な支出事業内容(予算)	委託料					29,977 千円	主な支出事業内容(決算)	委託料					29,976 千円	
	工事請負費(維持補修)					9,877 千円		工事請負費(維持補修)					4,006 千円	
	工事請負費(除却)					35,908 千円		工事請負費(除却)					35,841 千円	

事業番号	00211	事務事業名	財産一般臨時管理費	所管課名	総務課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
財産の取得から年数が相当経過し、維持修繕にかかるコストが大幅に増えていくことが見込まれる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
公共資産等総合管理計画に基づき、維持管理費や修繕改修費用を削減できるように、個別計画策定を進めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
公有財産の修繕経費が大きくなる一方で、施設のあり方等見直し等、今後関係者を巻き込んだ協議が求められている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	財産の取得より年数が経過するにつれて、維持補修が必要となるため財産の有効活用を行う上で必要である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町有財産の維持管理であるため、基本的には町が行うべきであると考え、指定管理施設の小規模修繕等の問題にも切り込む必要はある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	必要最低限の事業であり、見直す余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	財産の維持管理のために必要な成果は挙げているが、今後、維持管理における計画的かつ効率的な取り扱いが必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	財産の老朽化は進むため、廃止はできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	インフラにも言及し、公共施設の台帳管理を徹底し、総合管理計画において綿密な施設管理を行う必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	余地はなく、今後増大する事業費をいかに平準化できるかを模索する必要がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	公共財産の維持管理であり、受益者の偏りは発生しない。(ただし、公平な受益者負担の観点からも施設利用料や運営改善等を確立する必要がある。)

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	公共施設の維持経費増大が見込まれる一方、利用者減少という現状を鑑み、真に必要な施設(財産)を見極めて管理していかなければならない。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 今後は財産の老朽化に伴い、コストの増加が見込まれるため、財産の長寿命化やファシリティマネジメント等を行い、財産の整理を検討する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
財産の老朽化に対しては、課を超えた横断的な体制で取り組む必要がある。																									